

学校だより

潮風

令和4年度
第3号
令和4年
5月31日

教育目標 「伸びる喜びを見つけよう」

学ぶよろこび (知) 助け合うよろこび (徳) やりぬくよろこび (体)



岩内町立岩内西小学校 TEL 62-0263

<http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/nishisyo/>

粘り強く『やりぬく姿』にっこりと



岩内西小学校長 古館 昭仁

初夏の風も爽やかな季節となりました。5月は、交通安全教室（4月下旬）や避難訓練などの「安全に関する」行事やふれあい班集会、児童会活動などの「相手を認め合う」行事が多くあり、それらの教育活動を通し子供たちがまた一つ大きく成長したと感じております。先日パトロールにいらしたお巡りさんとお話をした際、「西校の子どもたちはいつも元気よく挨拶をしてくれます。」と地域の方にも積極的に挨拶をするすばらしさについて改めて子供たちに伝えました。

さて、13日に行いました遠足のねらいの1つに「長距離を歩くことにより、粘り強くやり抜く態度と持久力の向上を図る」があります。それは「目的地までみんなと力を合わせて歩くぞ。」と**自分が決めた目標に向かい努力する姿**を想定して設定しております。遠足終了後子供たちに聞きますと一様に「遠足は楽しかった。」「疲れたけど歩いて良かった」と振り返りをしていました。どうしてそのような感想になるかを少し考えてみました。きっと子供は「歩くのが大変だ」「疲れる」などマイナスの思考になることもあります。それよりも、風を感じて歩く「喜び」やみんなも一緒だという「安心感」、また、日常の授業とは違う環境からくる「楽しさ」や「充実感」というプラスの思考が上回るため、「遠足は楽しかった。」と振り返ることができ、目標であった「やりぬくこと」ができた子が多くなる結果につながったと考えられます。つまり、たとえ途中でうまくいかずに「もうやだな」「やめたいな」と思ったとしても、その過程で「楽しさ」や「喜び」「充実感」などを感じることができれば、粘り強くやりぬいた後、「達成した満足感」を味わうことができるということです。

ランドデザイン「にっこり西校」に「目標を設定して（粘り強く）取り組む」があり、それが達成されると「にっこり」につながります。学校で行う教育活動も家庭で行う学習等も**大変さの中に「楽しさ」「喜び」「充実感」を味わいながら行う**と「いつの間にか達成してしまったよ。」「やり切ってよかった。」というモチベーションで、最後までやりぬくことが増え、自己肯定感が高まり、結果、成長につながります。これからも「にっこり」のために教育活動を進めていきたいと考えております。

来月は運動会です。運動会のねらいの1つに「競技や活動に目標をもって取り組み、**最後までやり遂げる子供**を育てる」があります。徒競走で全員リレーで表現運動で、自分が立てた目標に向かって、「楽しさ」「喜び」「充実感」を味わいながら、日々練習に励んでおります。当日は、子供たちのそういった姿を十分に感じながら、感染症対策をしながらご覧いただきたいです。そして、達成感や充実感を味わったお子さんをぜひたくさん褒めてあげてください。

【学校教育目標】

伸びる喜びを見つけよう

【今年度のテーマ】

にっこり西校～真心を込めて～

元気ににっこり
からだがにっこり

【具体的な取組】

④目標を設定して取り組む